

# 百年の歩み





私たち東京都職員信用組合は、おかげさまで100周年を迎えることとなりました。大正10年3月30日東京都と東京市の職員有志が相集い、産業組合法による『有限責任府市信用購買組合』として創業して以来、関東大震災、第二次世界大戦、戦後の復興と高度成長、バブル経済の崩壊と金融再編、マイナス金利政策など大きな波を経験しましたが、何とか乗り越えて参りました。この日を迎えられましたのも、ひとえに組合員である東京都・特別区職員及び教員の皆さまのご支援あってのことと、心より感謝申し上げます。

近年では経済のグローバル化や少子高齢化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、社会・経済の変化はこれまで以上にスピードを増しており、私たち信用組合は英知を結集し改革を推し進めて参ります。同時に、創業精神については忘れることなく、東京都・特別区職員及び教員の皆さまにとって「一番身近な金融機関」として共に歩み、最高のサービスを提供できるよう全力を尽くして参りますので、引き続きのご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

理事長 中村 長年

## 100周年記念「ロゴマーク」



緑と朱色の和の交わりは、組合員のみなさまと当組合との信頼と絆を意味し、背景のリボンは次の100年への希望を表現しています。

## 100周年記念「キャッチコピー」

100周年  
これからも、あなたのそばに都職信



丸の内  
旧都庁舎時代  
当組合の看板



当組合は、大正10年3月30日に東京府及び東京市の職員が自分の家を持つため、無尽のようにお互いに出資しあい、その資金をもとに組合で貸付を行い、逐次自分の家を持つという有志の組合として発足されました。その名も「有限責任府市信用購買組合」として、設立の目的である住宅取得のための貸付を中心に運営されました。その後昭和14年には、当初の同志的な組合から全職員を対象とする福利厚生のための金融機関へと発展し、今日の基礎を築きました。

この間、名称も当初の購買組合から購買利用組合を経て、昭和12年有限責任府市信用組合、昭和19年には有限責任東京都職員信用組合と変更。そして昭和24年中小企業等協同組合法の制定とともに、金融以外の兼営事業が禁止され、大蔵省より金融事業の免許を受けて、現在の「東京都職員信用組合」という名称となり、今日に至っております。

現在、東京都・特別区職員及び教員の皆さまにとって一番身近な金融機関としての存在となれた背景には以下のようなエピソードがあります。

まずは終戦後の昭和21年に、戦後の混乱と給料の封鎖制度実施による封鎖預金を取り扱わせていただいたことです。都のほとんどの職員の皆さまの口座を取り扱うことにより、皆さまに「都職信」の名前を憶えていただくきっかけとなりました。また、昭和40年にはチェックオフ条例が制定され、給料からの直接控除が認められたことを契機に、組合員数の増加とともに預金、貸出金の取扱残高も大幅に増加させていただくこととなりました。

こうして当組合は成長して参りましたが、昭和60年代となり金融自由化の急進、その後のバブル経済の崩壊の影響により、平成2年度、平成3年度には2期に亘り赤字決算となる厳しい経営状況に直面いたしました。しかしながら、関係諸団体から格別なご支援とご協力を得て、おかげさまで平成4年度には黒字転換することができました。また、平成12年には東京都教育信用組合の事業譲渡を受け、預金・貸出金残高も増加し、以降の業績は安定推移しております。近年では社会貢献の一環として、恵まれない子どもたちに対する支援のための定期積金「子どもボランティア積金～みらい～」の取扱い開始のほか、東日本大震災被災者等への義援金寄付活動にも取り組んで参りました。この間店舗についても丸の内の旧都庁舎での営業から、東京都庁の新宿移転に伴い平成3年4月より都庁第一庁舎16階北側に移転、更に令和元年9月に同じく都庁第一庁舎16階南側の新店舗に移転しております。

組合創立からこれまでの100年は、必ずしも平坦なものではありませんでしたが、様々な紆余曲折を経て、東京都・特別区職員及び教員の皆さまにとっての一番身近な金融機関としての基盤を確固たるものとする事ができた100年ではなかったかと自負しております。

なお、極めて雑駁ではございますが、年表を付しておりますので皆さまも100年を振り返っていただくと幸いです。

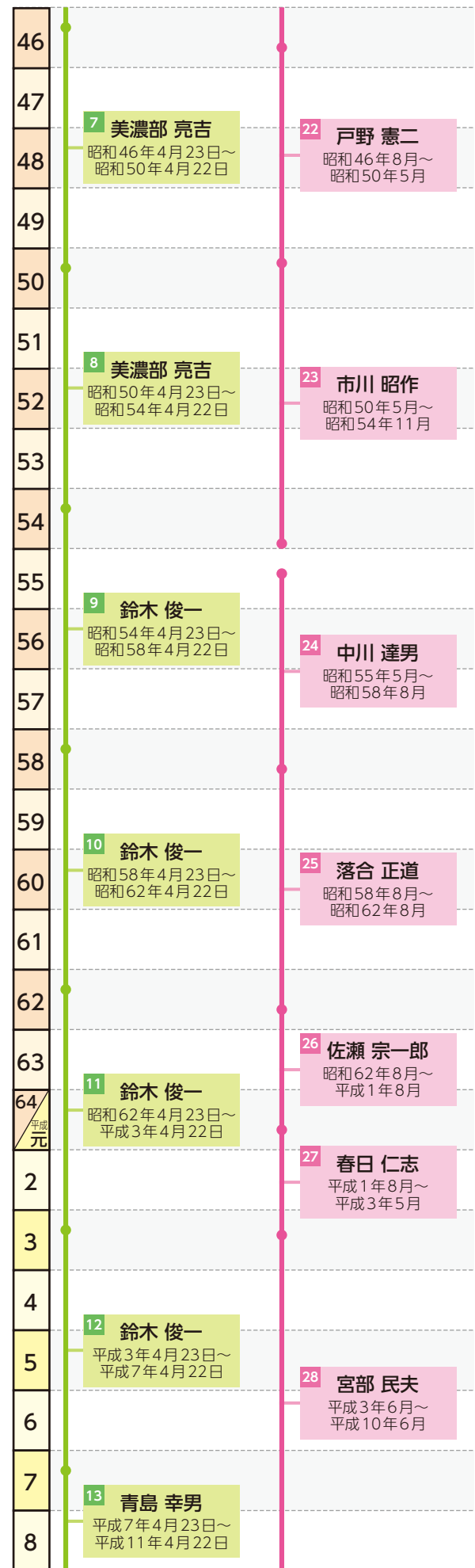
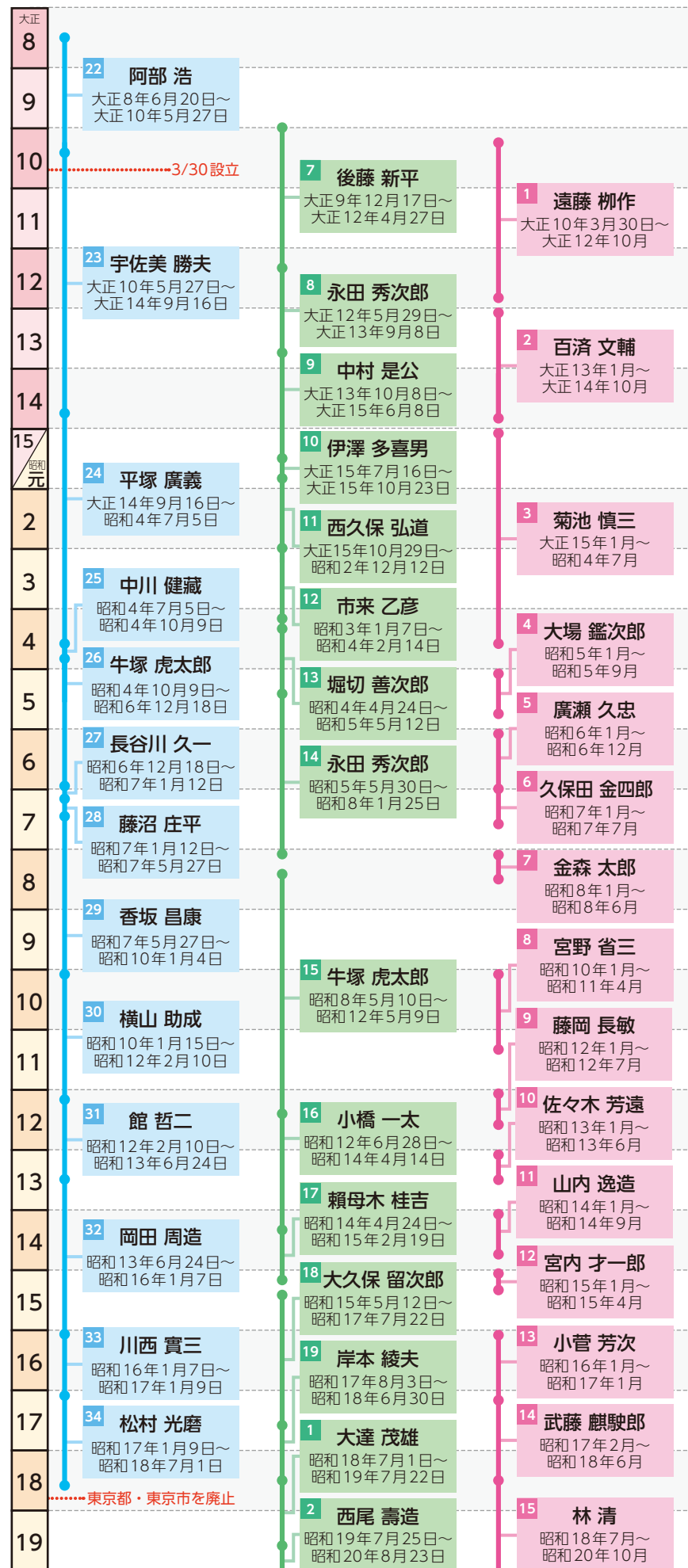
# 歴代の都知事・都職信理事長一覧

東京府知事

東京市長 (昭和18年: 東京都長官)

東京都知事 (昭和22年)

理事長 (大正10年: 組合長、昭和39年: 理事長)



# 年表(抜粋)

	年	組合員数	出資金	預金残高	貸出金残高	都職信の出来事	社会のうごき
創設	大正10	(名) 228	(千円) 78	(千円) 2	(千円) 6	●産業組合法を根拠とし、(有限責任府市信用購買組合)として発足(3月30日) ●(有限責任府市信用購買利用組合)と改称	●高橋是清内閣成立 ●メートル法採用
	昭和初期	昭和12	4,731	1,322	496	1,567	●(有限責任府市信用組合)と改称 ●事務室移転(旧丸ノ内西1号庁舎)(25坪)
17		5,338	1,494	1,478	1,707	●出資額と預金高がほぼ同額となる	●ミッドウェー海戦 ●米機本土初空襲 ●塩、ミノ、ショウユ切符制 ●「月々火水木金々」流行
19		4,717	1,258	2,038	1,335	●(有限責任東京都職員信用組合)と改称	●サイパン島陥落 ●神風特攻隊攻撃開始 ●官庁第1・第3日曜出勤 ●サトウ配給停止
20		4,400	1,153	2,784	1,078	●預金増加貸出金減少 ●手持有価証券無価値となる	●東京大空襲焼野原となる(3月9日都庁舎焼失) ●沖繩陥落 ●原爆投下 ●終戦 ●都人口340万 ●婦人参政権設立
21		4,134	1,006	5,203	673	●金融事業の再建整備に関する法律により特別決算(8月11日より23年3月31日) ●金融緊急措置令施行(新円一世帯300円家族1人100円) ●職員の封鎖預金の事務を取扱う	●新憲法公布 ●極東国際軍事裁判開廷 ●都衛生局・労働局設置 ●都労連・都職労結成
23		4,106	992	46,500	12,728	●産業組合法廃止、再建整備完了 ●預金高中 学校給食会・共済組合・健保組合等の団体預金の占める割合が大となる	●都建設局設置 ●警視庁110番誕生 ●帝銀事件 ●「斜陽族」流行語となる
昭和中期	24	4,412	1,374	70,738	24,569	●中小企業等協同組合法制定(金融以外の兼営事業禁止される) ●(東京都職員信用組合)と改称 ●勘定科目中「住宅取得貸付金」廃止	●為替レート1ドル360円と決定 ●都公安条例成立 ●都立大学設置
	27	5,839	7,127	264,523	62,975	●東京都健保組合の出納事務を受託	●破産法成立 ●都機構大改正(局・部・課制実施) ●都人口700万人突破 ●スクーター流行
	29	9,159	14,336	352,257	111,459	●出資金配当率10%となる(従来8%)	●ピキニ水爆実験 ●都体育館竣工(世界レスリング大会開催) ●都内大雪(52cm) ●電気洗濯機普及
	32	12,461	24,540	366,699	198,697	●大蔵省通達により出資金配当率を8%とする	●五千円札・百円硬貨発行 ●都第一本庁舎竣工 ●都区財調条例制定 ●夢の島ゴミ埋立開始
	34	14,393	30,291	578,772	266,338	●40周年を記念し10%配当を行う	●皇太子殿下ご成婚 ●第18回オリンピック東京と決定 ●岩戸景気(経済成長率17%) ●緑のおばさん・路上パーキングメーター登場
	35	15,350	33,218	657,394	295,509	●都に信用組合課設置	●都人口1000万人突破 ●ケネディ米大統領就任 ●電話局番三桁となる ●電気冷蔵庫普及
	37	17,252	40,909	873,109	419,851	●専任組合長就任	●住居表示法施行 ●三宅島大噴火・学童疎開 ●都異常湯水 ●都第二本庁舎竣工 ●地方公務員共済組合発足
	39	19,158	47,139	804,647	533,122	●東京都公金収納取扱店の指定を受ける ●オリンピック記念百円硬貨を窓口で両替	●東京オリンピック・パラリンピック開幕 ●駒込公園開園 ●新幹線営業開始 ●都給水制限(1日15時間「東京さばく」の語生まれる)
	40	19,667	47,107	974,185	547,342	●チェックオフ条例制定施行(給料からの直接控除が可能となる)	●多摩ニュータウン都市計画決定 ●都人口1087万人 ●戦後最大の証券界不況 ●「モーレツ社員」流行語となる
	41	20,184	47,732	1,105,800	692,687	●都信用組合基本要綱を制定 ●特別区公金収納取扱店の指定を受ける	●交通事故死13,904人「交通戦争」の語生れる ●ビートルズ来日公演レキブーム最高潮
	42	21,067	47,909	1,398,102	834,140	●共済組合つなぎ融資、互助組合受託小口住宅資金貸付を開始	●新宿西口広場完成 ●学校群制度実施 ●都人口初めて転出が転入を上まわる ●ベトナム戦争拡大
	44	25,159	52,446	1,933,685	1,360,639	●東6号庁舎に分室開設営業開始(10月1日) ●交通互助組合より配転職員貸付金返済事務を受託	●ダウ平均2000円の大台に乗る ●安田講堂落成 ●東名高速全線開通 ●米アポロ10号月面軟着陸に成功
	45	27,057	56,559	2,173,862	1,960,682	●特別区からの預金取扱開始 ●利息日歩建が年利に移行 ●日本万博記念百円硬貨を窓口で両替	●日本万国博開催 ●三島事件 ●よど号乗っ取り事件 ●公害深刻化都公害局発足 ●都産直事業開始
46	29,105	61,985	2,539,475	2,276,650	●創立50周年記念行事 ●貸出内訳(生計資金13億円、住宅貸付9億円)住宅取得から福利厚生金融機関として名実ともに脱皮	●円切上げ(変動相場制) ●都「広場と青空構想」発表 ●都ゴミ問題激化「ゴミ戦争」宣言 ●都史雇員制度廃止職名一本化	
昭和後期	52	36,709	118,703	6,207,631	4,811,816	●足立支店開設営業開始(6月1日)	●都週休2日制試行はじまる ●有珠山噴火 ●日本赤軍日航機乗っ取り事件 ●玉選手世界最高の756号
	56	38,944	189,648	10,294,456	7,846,019	●創立60周年記念行事 ●預金高100億円突破 ●新型期日指定定期預金取扱開始	●都財政再建で大幅定数削減、退職手当引下げ ●マイタウン元年総合実施計画策定 ●レーガン米大統領就任 ●米スペースシャトル処女飛行成功
	58	39,646	211,046	11,615,998	8,592,323	●普通預金オンライン加入 ●共済組合特別貸付つなぎ融資実施	●三宅島噴火災害21年ぶり ●日本海中部地震、津波大被害 ●銀行第2土曜休日 ●東京ディズニーランド開園 ●「おしん」高視聴率
	60	40,103	217,720	11,968,093	7,464,051	●給与振込取扱開始 ●ATM設置 ●大口定期預金取扱開始 ●譲渡性預金取扱開始 ●都債タイドローン実施 ●定年制実施 ●積立定期預金オンライン加入	●日航ジャンボ機墜落世界航空史上最悪の惨事死亡520人 ●電電、専売民営化でスタート ●科学万博「つくば85」開催 ●都60歳定年制施行



	年度	組合員数	出資金	預金残高	貸出金残高	都職信の出来事	社会のうごき
平成初期	平成 元	(名) 42,051	(千円) 237,835	(千円) 17,358,670	(千円) 8,736,391	●分室廃止	●消費税スタート(3%) ●東京武道館開館
	2	44,368	244,139	18,027,159	12,105,291	●分室廃止に伴いATM設置 ●交通互助支部貸付事業債権譲受	●イラク軍クウェートに侵攻、湾岸戦争へ ●東西両ドイツ統合 ●東京03地域市内局番4桁に
	3	44,205	235,885	19,534,600	11,319,293	●新都庁舎(第一本庁舎16階北側)にて営業開始(4月1日) ●当組合シンボルマーク、ロゴ設定 ●足立支店廃止(9月30日) ●カードローン実施	●新都庁舎オープン ●都立大学新キャンパス完成 ●雲仙普賢岳、大規模火砕流発生
	6	43,784	224,537	32,626,789	9,838,987	●普通預金等流動性預金金利自由化(金利自由化完了)	●阪神・淡路大震災 ●オウム真理教 公証役場事務長監禁致死事件 ●地下鉄サリン事件 13人死亡 約6300人被害
	7	43,625	210,946	35,941,936	9,199,217	●退職者優遇定期預金の販売開始 ●ディスクロージャー誌作成開始 ●創立75周年記念行事	●東京都知事に青島幸男氏 大阪府知事に横山ノック氏当選 ●東京外為市場 1ドル=79.75円 戦後最高値
	9	42,033	199,766	38,893,378	9,444,444	●(財)東京都福利厚生事業団の斡旋提携住宅ローンの取扱開始	●消費税3%から5%に引き上げ ●北海道拓殖銀行 経営破たん ●山一証券 自主廃業を発表 ●長野冬季オリンピック・パラリンピック開幕
	10	41,435	196,922	45,994,944	10,159,284	●キャッシュカードの支払手数料無料化開始	●サッカーW杯フランス大会開幕 日本が初出場 ●日本長期信用銀行が破たん 一時国有化に ●日本債権信用銀行が破たん ●日銀 実質ゼロ金利政策決定
	11	40,959	193,389	58,070,400	11,221,346	●特別区職員互助組合の斡旋提携住宅ローンの取扱開始	●自公3党連立発足 ●携帯電話が固定電話を抜く ●北海道 有珠山 23年ぶり噴火
	12	41,886	194,977	77,937,488	21,615,380	●H12.4月全国どこでも郵便局でもATM使用可能に ●東京都教育信用組合事業譲受 ●住宅ローン保証料無料化	●ロシアの大統領にプーチン氏が就任 ●伊豆諸島の三宅島噴火 ●九州・沖縄サミット開幕 ●シドニーオリンピック・パラリンピック開幕 ●高橋尚子さんに国民栄誉賞 ●米大統領にジョージ・ブッシュ氏就任(共和党)
	14	41,969	192,815	73,091,189	22,745,326	●ホームページ開設	●ペイオフ制度導入 ●学校週5日制 毎週土曜日が休みの完全実施 ●サッカーW杯 日韓大会開幕 ●イラク戦争始まる
平成中期	15	42,253	196,879	80,702,619	22,661,220	●「地区」を「東京都一円」から「一都七県」へ変更	●日経平均株価 7607円88銭 バブル崩壊以降最低値(当時) ●小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ ●テレビ地上デジタル放送開始(東京、大阪、名古屋) ●九州新幹線 新八代～鹿児島中央間が開業
	16	43,737	250,005	78,093,249	22,946,834	●10月より毎週水曜日7時まで融資相談窓口延長 ●スマトラ沖地震、津波支援定期積金販売 ●三宅島帰島支援義援金寄付	●東京の営団地下鉄が民営化 東京メトロ誕生 ●アテネオリンピック・パラリンピック開幕 ●インドネシア・スマトラ沖地震 ●「愛・地球博」が愛知県で開幕
	18	44,992	298,696	71,303,016	22,850,094	●都職信 85周年記念定期積金の販売 ●都職信 85周年記念退職優遇定期預金の販売 ●個人向け国債の販売業務開始(9月)	●秋篠宮妃紀子さま男児ご出産 お名前は「悠仁(ひさひと)さま」 ●景気回復「いざなぎ景気」超え ●新語・流行語大賞のトップテンに「格差社会」 ●最高気温35度以上の日を「猛暑日」と呼ぶことに 気象庁 ●第1回東京マラソン開催
	19	46,156	304,575	75,415,376	24,169,587	●「子どもボランティア積金みらい」取扱開始 ●インターネット・バンキング取扱開始(H20.1) ●特別区提携無担保ローン	●サブプライムローンの焦げ付き問題で世界同時株安 ●郵政事業 民営化 ●将棋 羽生善治2冠 1,000勝 最年少記録更新 ●ゆとり教育転換へ
	20	46,956	308,148	78,401,472	26,063,153	●環境対応型自動車に対し通常より低い金利を適用	●「後期高齢者医療制度」スタート ●北京オリンピック・パラリンピック開幕 ●米の大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻 ●米大統領にオバマ氏就任(民主党)
	21	47,516	309,377	84,445,645	28,040,635	●「子どもボランティア積金みらい」H22.3末積金残高3億円突破 ●「融資利用分量配当」再スタート(H21年度決算)	●裁判員制度スタート ●日本年金機構発足 ●日本航空 会社更正法適用申請 ●バンクーバー冬季オリンピック・パラリンピック開幕
	22	48,567	310,884	76,970,308	29,945,304	●90周年キャンペーン特別金利商品の販売(定期積金・マイカーローン) ●自動車保険の代理店業務開始(H23.2) ●東日本大震災被災者等への義援金寄付	●羽田空港 新国際線ターミナルビルオープン ●日本のGDP 世界3位に後退 ●東日本大震災(東北地方太平洋沖地震) ●九州新幹線 博多～新八代間開通し全線開業
	25	46,415	260,920	74,266,517	36,799,752	●「ポケットローン」「教育ローン」「プライダルローン」 「医療福祉ローン」の4商品を取扱(一財)東京都人材支援事業団 あっせん提携商品として取扱開始(H25.4)	●長嶋茂雄さんと松井秀喜さんに国民栄誉賞 ●いじめ防止対策推進法が成立 ●IOC総会で2020年五輪・パラの開催都市が東京に決定 ●ロシア 冬季オリンピック・パラリンピック開幕
	26	45,047	254,123	75,088,168	37,087,500	●台風26号で大きな被害を受けた大島町へ義援金寄付 ●特別区の職員向け「プライダルローン」取扱開始	●消費税5%→8%に 消費税増税は17年ぶり ●はやぶさ2打ち上げ成功 ●振り込め詐欺などの特殊詐欺の被害額が初めて500億円超 ●北陸新幹線 長野～金沢間開業
	27	45,216	241,682	75,935,786	37,267,960	●95周年記念定期積金の販売開始 ●出資配当金および利用分量配当金をそれぞれ2割増配 (95周年記念配当)	●マイナ番号法施行 ●日経平均株価 終値として15年ぶりに2万円台回復 ●日本郵政 ゆうちょ銀行 かんぽ生命の郵政3社が株式上場 ●日銀 マイナス金利導入を決定
平成後期	28	46,065	239,697	75,125,276	36,835,188	●新カードローン(フリー・教育)取扱開始(非対面OK) ●おまとめローン取扱開始 ●毎月第1・第3土曜日に住宅ローン相談会開催(H28.11)	●電力自由化スタート ●熊本地震 M6.5 益城町で震度7 ●五輪エンブレム 終値として15年ぶりに2万円台回復 ●英国 国民投票でEU離脱が過半数 ●リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック開幕 ●米大統領にトランプ氏就任(共和党)
	31 令和 元	47,548	229,738	75,215,693	37,525,749	●事務室移転(東京都庁第一庁舎16階北側から南側へ) ●移転キャンペーン定期預金の販売 ●はじめての都職信定期預金の販売 ●大型リフォームローン取扱開始	●新元号は「令和」 出典は万葉集 官房長官発表 ●消費税8%から10%に引き上げ ●高齢者ドライバー社会問題化 ●沖縄・首里城火災 ●新型コロナウイルスで世界的危機 ●ラグビーW杯日本大会
令和初期	2	48,218	231,412	74,059,512	38,072,627	●創立100周年記念行事	●政府が緊急事態宣言発令、コロナ流行止まらず ●ソーシャルディスタンス、3密回避が一般用語に ●夏の甲子園が開催中止、戦後初めて ●東京五輪、延期に(令和3年7月23日開幕) ●米大統領にバイデン氏就任(民主党)

(注) 大正・昭和は1月～12月の暦年、平成・令和は4月～3月の年度基準の記載となっております。

なお、組合員数、出資金、預金残高、貸出金残高の数字は、大正10年～昭和18年まで12月31日現在、昭和19年以降は3月31日現在、令和2年度は令和3年1月31日現在となっております。

## お金をためる・ふやす

### 総合口座

普通預金・定期預金・当座貸越(自動融資機能)を1冊にセットした通帳です。

1冊で「受け取る」「使う」「支払う」「ふやす」「借りる」の5つの機能を備えた、大変便利な口座です。

### 定期預金

将来の計画や目的に合わせて、お選びください。

確実に貯めるなら、定期預金です！

#### ▶ 期日指定定期預金

お預入期間が最長3年の定期預金で、お預入後1年経過すれば、いつでも解約または一部払い出し(1万円以上)が可能です。

#### ▶ スーパー定期

お預入期間は最長5年、目的に合わせて期間をお選びいただけます。

3年以上のお預入れは、半年毎の複利計算なのでさらに有利です！

(個人のお客さまのみ)

#### ▶ 大口定期預金

お預入れ期間は最長5年、1,000万円以上のまとまった資金を有利に運用できます。

おすすめ



### 普通預金

いつでもお預入れやお引出しのできる預金です。お財布代わりに日常の入出金にご利用いただけます。給与天引き、給与振込が可能です。

### 積立定期預金(ステップ積立)

積立の手軽さと定期預金の有利さを合わせ持った商品です。お好きな時に、お好きな金額を、毎月何回でもお預入れできます。エンドレス型は、ボーナス時の控除もOKです。

毎月の積立額：1,000円以上1,000円単位

積立期間：1年・2年・3年・4年・5年・エンドレス

### 定期積金(マイプラン積金)

毎月のお給与から一定額を控除し、お積立いただけます。

新入職員の方を対象とした積金商品や、受取利息の一部を恵まれない子ども達へ寄付することができる「子どもボランティア積金(みらい)」をご用意しています。

**マイプラン** 毎月の積立額：1,000円以上1,000円単位  
積立期間：1年・2年・3年・4年・5年

**みらい** 毎月の積立額：5,000円以上1,000円単位  
積立期間：1年

おすすめ



## お金をかりる

ローン種類	用途		融資額	最長返済期間
住宅ローン	・住宅の新築、戸建て購入、マンション購入 リフォーム、お借換えなど(自己居住用)	有担保	1億円	50年以内
セカンドハウスローン	・2軒目住宅(セカンドハウス)の新築、購入、増改築資金 (建物付の隣接地購入を含む)など	有担保	1億円	50年以内
不動産担保ローン	・原則、用途自由(事業・投資目的は対象外)	有担保	5000万円	35年以内
マイカーローン	・マイカーおよびバイクの購入、車検、修理費用 ・他金融機関、ディーラーの自動車ローンからのお借換え		500万円	10年以内
教育ローン	・入学金、授業料、施設設備費、受験費用、在学中のアパート等の家賃、 定期代などの交通費。教育ローンのお借換えにも！		1000万円	15年以内
リフォームローン	・住宅の増改築、解体、車庫設置、外構工事、太陽光発電設置、 その他リフォーム関連資金、他金融機関等からのリフォームローンお借換え		1000万円	15年以内
冠婚葬祭ローン	・挙式、披露宴、新婚旅行および新居費用等、他金融機関等からのお借換え ・葬儀費用、仏壇・仏具の購入費用、墓苑・墓石購入費用等		500万円	10年以内
医療・介護ローン	・ご本人および二親等内の親族にかかる医療・療養費 (出産、インプラント、レーシック等の保険適用外の医療費、介護費用等)		500万円	10年以内
おまとめローン	・複数あるローンやクレジットのおまとめ資金(事業資金は除く)	保証付	500万円	10年以内



©TOSHOKUSHIN

この他にも、多様な商品をご用意しております！  
お気軽にご相談ください！

24時間いつでも  
WEB事前審査受付中！

